



2022.11

令和4（2022）度
前期学校評価

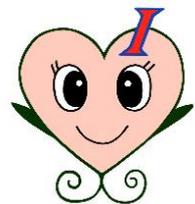
（よりよい学校づくりのためのアンケート調査）

結果の概要

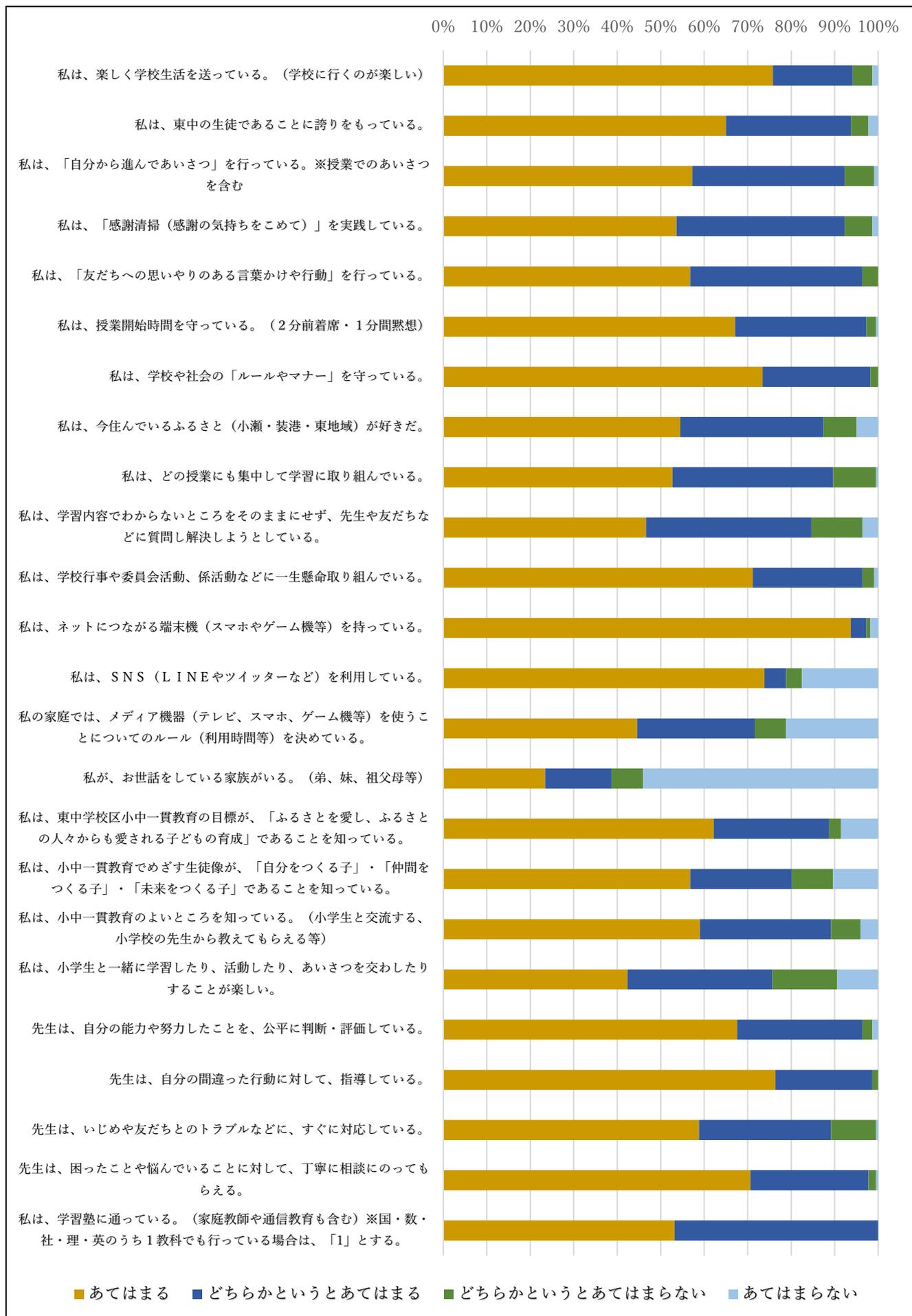


東小・中合同入学式

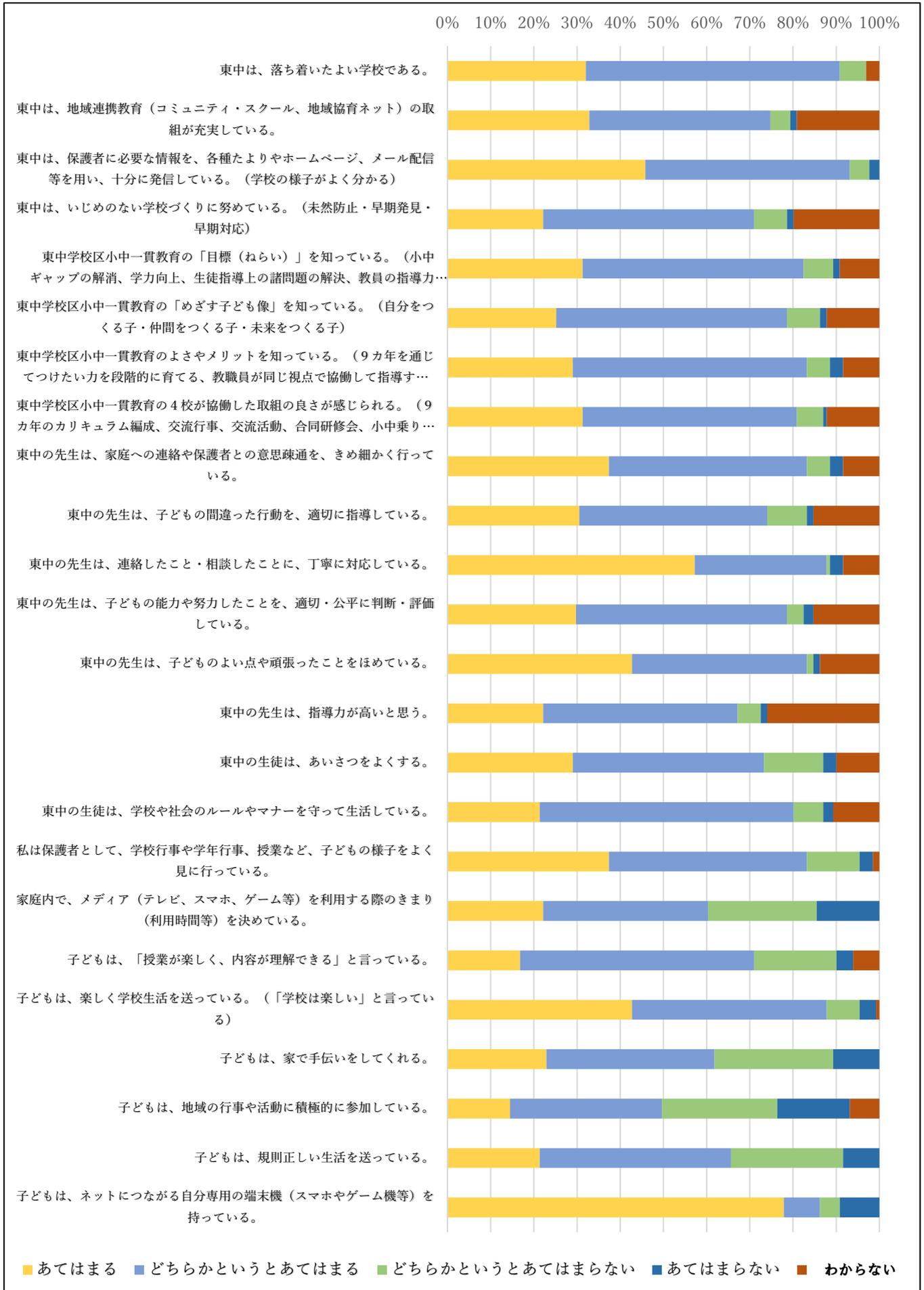
岩国ひがし学園
岩国市立東中学校



令和4年度 前期学校評価 生徒用 集計結果（全校）



令和4年度 前期学校評価 保護者用 集計結果（全校）



◎ アンケート集計結果の概要

- (1) 実施時期 7月11日(月)～7月19日(火)
 (2) 回答者数 生徒：223名 保護者：141名
 (3) 回答率 生徒：86% 保護者：51%
 (4) 集計結果(平均ポイントにおける上位・下位各7項目)
 ※ 4・3・2・1評価で、満点は4点、平均は2.5点です。
 ※ 4・3・2・1評価の数値の単位は%です。(小数点以下四捨五入)

① 生徒

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	私はネットにつながる端末機を持っている	3.75	94	4	2
2	先生は間違っただ行動を指導してくれる	3.75	77	22	1
3	私はルールやマナーを守っている	3.72	74	24	2
4	私は楽しく学校へ通っている	3.69	76	18	6
5	先生は丁寧に相談にのってもらえる	3.68	71	27	2
6	私は行事・委員会・係活動に一生懸命	3.67	71	26	3
7	私は時間を守っている	3.64	67	30	3

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	平日のメディア利用時間	1.81	9	13	78
2	平日の家庭学習時間	2.39	12	35	53
3	家庭におけるメディアルールの設定	2.95	45	27	28
4	小学生と活動するのが楽しい	3.09	42	33	25
5	小中一貫教育 目標の認知度	3.27	57	23	20
6	私は分からない学習内容を質問している	3.28	47	38	15
7	私はSNSを利用している	3.35	74	5	21

② 保護者

上位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どもはネットにつながる端末機を持っている	3.55	78	8	14
2	学校からの情報発信が充実している	3.37	46	47	7
3	地域連携教育が充実している	3.31	41	51	8
4	先生は相談に丁寧に対応してくれる	3.35	44	49	7
5	子どもは楽しく学校生活を送っている	3.28	43	46	11
6	小中一貫教育の良さが感じられる	3.27	36	57	7
7	東中は落ち着いた学校である	3.27	33	61	6

下位	質問項目	平均ポイント	4評価	3評価	2・1評価
1	子どものスマホなどの利用時間	1.90	7	15	78
2	子どもの家庭学習時間	2.42	15	25	60
3	子どもは地域行事に参加している	2.51	16	38	46
4	家庭におけるメディアルールの設定	2.68	22	38	40
5	子どもは家で手伝いをしている	2.74	23	39	38
6	子どもは基本的な生活習慣が身についている	2.79	21	44	35
7	子どもは授業が楽しいと言っている	2.89	18	58	24

(5) 項目ごとの結果について

肯定評価（4・3の合計）が90%以上は、

生徒が25問中12問、保護者が26問中11問であった。

それが80%以上となると、

生徒が18問、保護者が19問で、おおむね肯定的な評価が多かった。

しかし、肯定評価が50%に満たない項目は、生徒が3問、保護者が2問であった。いずれも昨年度に引き続いた課題（スマホ等のメディアの利用時間、家庭学習時間等）となっており、改善に向けた取り組みが必要となっている。

【生徒、及び、保護者共通質問項目】 ※ ↘・↗は昨年度後期評価との比較

	共通質問	生徒 (R3後期)	生徒 (R4前期)	保護者 (R3後期)	保護者 (R4前期)
1	先生の適切な指導	3.82	3.75↘	3.27	3.22↘
2	楽しい学校生活	3.55	3.69↗	3.26	3.28↗
3	ルール・マナー	3.69	3.72↗	3.11	3.11→
4	先生の公正な判断・評価	3.61	3.63↗	3.21	3.25↗
5	あいさつ	3.35	3.49↗	3.13	3.10↘
6	思いやりのある言動 いじめのない学校づくり	3.48	3.53↗	3.18	3.14↘
7	小中一貫教育 よい点・メリ ットの理解	3.09	3.44↗	3.12	3.19↗
8	小中一貫教育 めざす子供 像の理解	3.16	3.27↗	3.09	3.17↗
9	家庭学習時間	2.78	2.39↘	2.55	2.42↘
10	小中一貫教育 目標の理解	3.17	3.42↗	3.13	3.24↗
11	スマホなどの利用時間	1.86	1.81↘	1.98	1.90↘

【その他の質問項目】 ※「5ポイント上昇」とは、「5%上昇」ということです。

生徒

- 「東中の生徒であることに誇りをもっている」について、94%が肯定評価であり、昨年度と比較し、評価ポイントが5ポイント上昇している。今後も、生徒会を中心に生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感をさらに高めたい。
- 「感謝清掃」について、92%が肯定評価であり、昨年度と同様である。ふるさと愛ネット協議会で定めた「美・礼・時」にもあるように、心を育む清掃活動となるように、指導を行っていきたい。
- 「時間を守る」については、97%が肯定評価であり、昨年度と比較し、3ポイント上昇している。特に一学期においては、月の生活目標にも時間を守ることを掲げ、全校で取り組んでいることがポイントの上昇につながっていると思われる。
- 「ふるさとが好き」について、87%が肯定評価であるが、昨年度と比較し、1ポイント下降している。コロナ禍ではあるが、地域の方のご尽力により、「土曜夜市」や「えびす祭」が再開していることから、地域と学校が一体となった取り組みを行い、郷土愛を高めたい。
- 「授業に集中して取り組んでいる」について、90%が肯定評価であり、昨年度と比較して、3ポイント上昇している。生徒は、全体には授業に落ち着いて取り組んでいるが、一部、学習意欲が低下している生徒がいる。また、「わからないことを質問する」は肯定評価が85%（昨年度より3ポイント上昇）しているが、

「家庭学習時間」については、肯定評価が47%（昨年度より10ポイント降下）と低く、わかる授業を展開するとともに、小学校と中学校が連携しながら、家庭学習の充実をめたい。

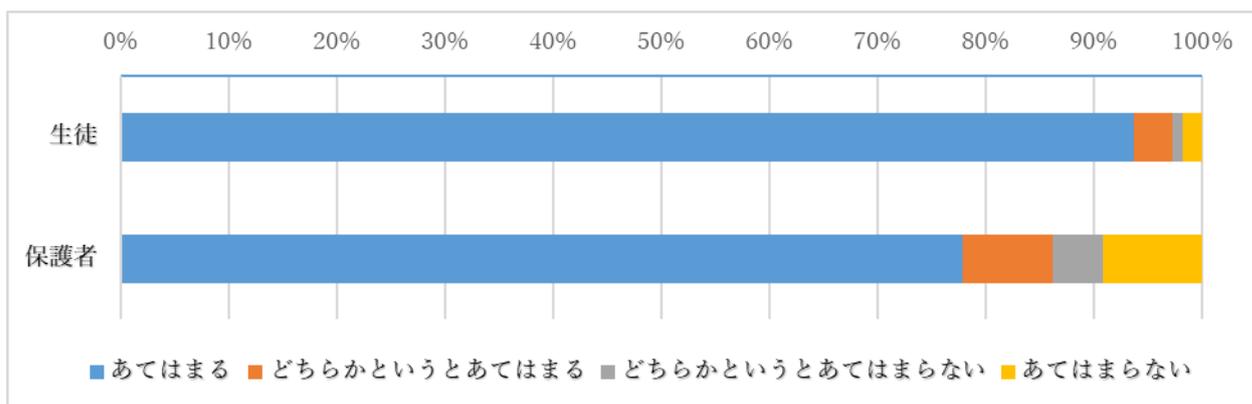
- 「小学生との交流活動は楽しい」について、肯定評価が76%であり、昨年度より6ポイント上昇している。コロナ禍ではあるが、交流活動を再開していることがポイントの上昇につながっていると思われる。現在も、清掃活動等で児童と生徒がともに活動する場を設けており、さらに交流を充実させたい。
- 先生の指導に対する評価：「公平に判断・評価、間違っただ行動をきちんと指導、トラブルに丁寧に対応、困ったことや悩んでいることへの相談」はいずれも昨年度に引き続き高い評価ポイントであった。教員が、一人ひとりの生徒の喜びを分かち合い、一人ひとりの生徒の不安と向き合いながら、充実した学校生活がおくれるように努めたい。

保護者

- 「東中は落ち着いたよい学校」について、94%が肯定評価であるが、昨年度と比較し、ほぼ同値である（1ポイント上昇）。引き続き、学習に臨む姿勢や休み時間の過ごし方など継続して指導を続けていきたい。
- 「家庭への連絡や意思疎通」について、90%が肯定評価であり、昨年度と比較し、3ポイント上昇している。学校と保護者の協力体制の基盤は、情報共有であるとことを念頭に置いて、今後もきめ細やかな情報共有を行いたい。
- 「先生は子どもの頑張りを褒めてくれる」について、96%が肯定評価であり、昨年度とほぼ同値である。この質問に対する評価が例年高い。今後も、教員は、一人ひとりの生徒の言動を見逃さず、適切な評価へとつなげていきたい。
- 「東中の先生は指導力が高い」について、90%が肯定評価であるが、昨年度と比較して、4ポイント上昇している。ただし、2割強の保護者が「わからない」と答えており、授業参観や便り等で、学校・学年・学級の取り組みを積極的に公開していきたい。
- 「授業参観などで子どもの様子を見に行く」について、84%が肯定評価であり、昨年度と比較して5ポイント上昇している。しかしながら、コロナ禍であり、行事や授業など制限があり、大変申し訳なく思っている。学校としては、今後も感染状況を見極めながら、できる限り参観できるように努めたい。
- 「子どもは基本的な生活習慣が身についている」について、66%が肯定評価であるが、昨年度より8ポイント下降している。最近では、中学生でも多くの生徒が、ネットにつながる端末機（スマホ・ゲーム機）を持っており、その使用時間が増えている。そのことが要因で、生活リズムが乱れてしまうケースが散見される。今回のアンケートでは、特にネットの利用について、質問を行ったので、その結果を報告する。

(6) 生徒のネット利用について

① ネットにつながる端末機（スマホ・ゲーム機）の保持について

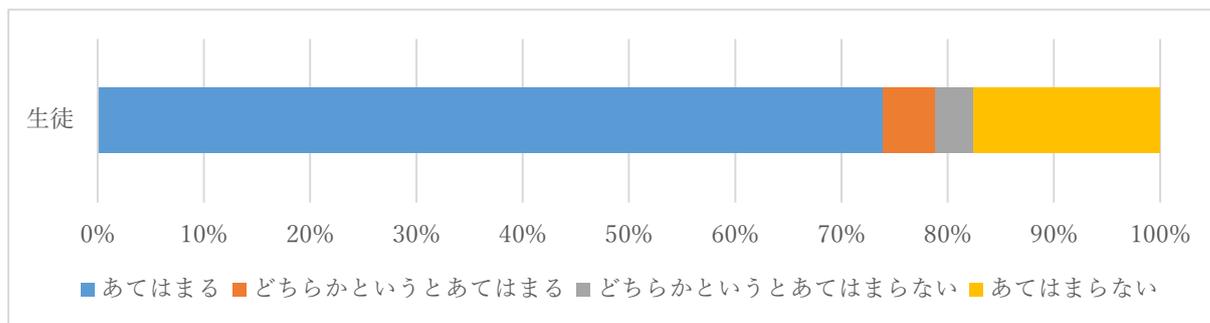


最近では、ネットにつながることでできる端末は、スマホやタブレットだけでなく、いわゆるゲーム機からもネットに接続することができる。また、多くの生徒（小学生も）が、オンラインゲーム等で、ボイスチャット機能を使い、ネットワークで対戦するゲームを楽しんでいる。

本アンケートから、東中学校のほぼすべての生徒（97%）が、ネット環境につながる端末を個人保有している状況が判明した。ただし、保護者は、85%程度が保持しているにとらえているため、1割程度の保護者は、子どもがネットに接続できることを知らない状況であることも考えられるため、ネットの利用の危険性が危惧される。

今一度、小中一貫教育の機能を発揮し、小学校と連携したネット利用についての注意喚起を行う必要がある。

② SNS（LINE 等）の利用状況について

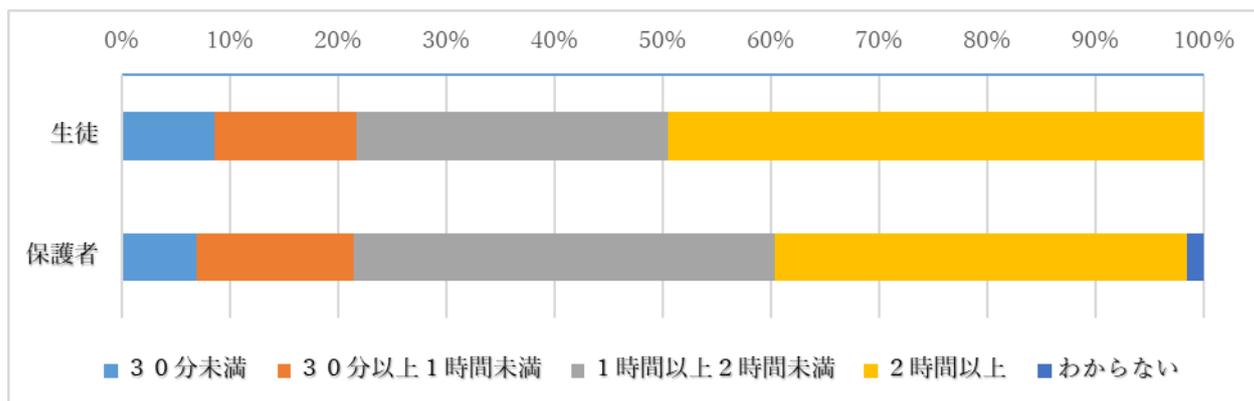


LINE 等の代表される SNS の利用が広がり、現代人にとって、コミュニケーションツールの一つとなっている。文字だけでなく画像や動画等も共有できることから、多くの人に利用されている。

その反面、SNS でのトラブルは、大きな社会問題化している。ウソ情報の拡散や肖像権の侵害、いじめなど枚挙にいとまがない。特に、未成年者が犯罪に巻き込まれる入り口として、SNS が利用されることもある。

アンケート結果からも、多くの生徒が SNS を利用しており、「あてはまらない」すなわち「SNS を利用していない」と言い切れる生徒は、18%である。このことを踏まえ、SNS の正しい利用について、生徒自身が考える場を設定するとともに、企業とタイアップしたスマホの利用についての学習を進めていく。

③ 平日におけるメディアの利用時間



平日におけるメディアの利用については、1時間未満と1時間以上とで、生徒と保護者の認識に違いが見られた。1時間未満の家庭は、生徒及び保護者の利用時間の認識にあまり違いがないが、1時間以上利用している生徒では、保護者との認識に違いが見られた。

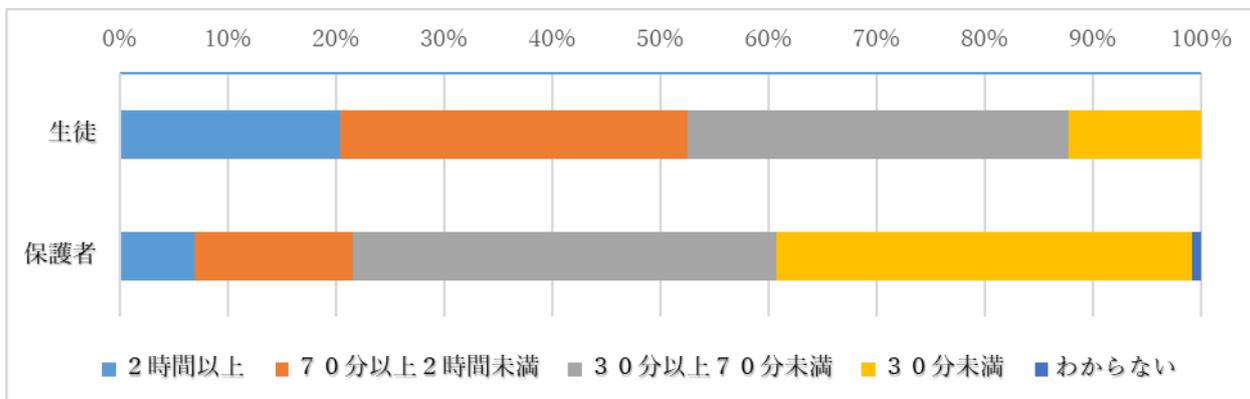
すなわち、1時間以上メディアを利用している生徒については、長時間にわたるため、保護者自身もどの程度利用しているのか、把握できない状況にあると考えられる。

さらに、生徒の回答では、平日において、2時間以上メディアを利用している生徒が4割程度おり、大きな課題にとらえている。すなわち、午後5時頃に部活が終

わり、家庭学習（通塾）や夕食等を済ませた後に、2時間以上メディアを利用するという事は、寝る時間がずいぶん遅くなり、規則正しい生活の妨げになっていると考えられる。

本校における不登校生徒数の増加を食い止めるためにも、メディア時間をコントロールすることで、規則正しい生活を定着させるとともに質の高い睡眠時間の確保に努め、翌日の活力につなげていきたい。

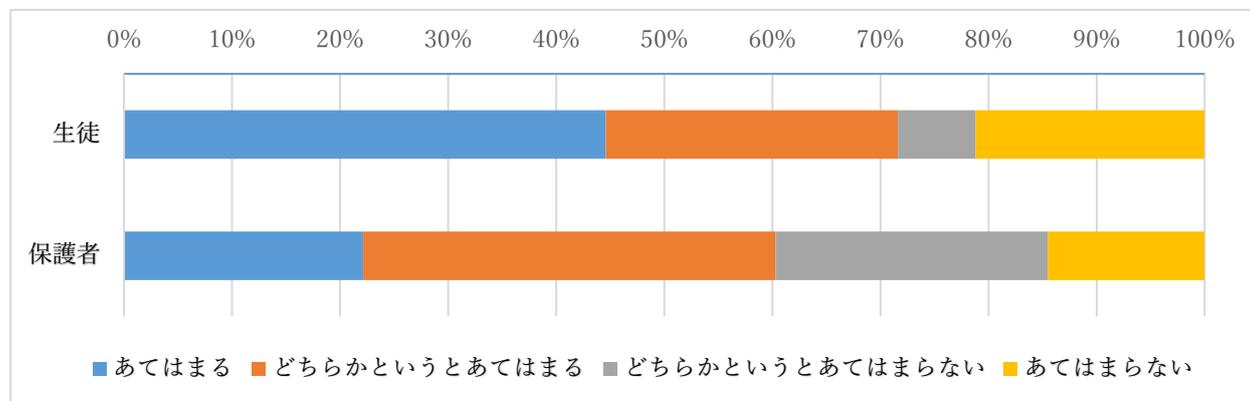
④ 平日における家庭での学習時間



ネットの利用についてのアンケートから、平日における家庭学習について、生徒と保護者の認識について比較してみると、大きな違いがみられた。保護者の方が、より厳しい視点で、家庭での学習状況をとらえていた。

特に、70分以上（7年生の目指す家庭学習時間）家庭学習を行っていると感じた生徒は、5割を超しているのに対して、保護者は2割程度である。この状況には、ネットの利用が関係していると考えられるため、家庭での学習時間の確保には、ネットの利用についてのルールづくりが必要と思われる。

⑤ メディア機器の利用に関する家庭でのルール設定



家庭におけるメディアの利用時間等のルールについては、肯定的な意見を持っている生徒は7割強であるのに対して、保護者は、6割であった。特に、「あてはまる」すなわちルールができていているという認識において、生徒と保護者間で、大きな違いがあった。

しかしながら、メディアの利用について、歯止めがなければ、家族のだんらんや家庭学習の時間、さらには基本的な生活習慣にまで、影響を及ぼしていく。メディアの適切な利用について、学校、家庭、地域が協力して進めていかなければ、家庭学習の時間等の継続されている課題は、改善されないと考えられる。

これまで、教職員による4部会（学び・こころ・からだ・つながり）、並びに、学校運営協議会において、結果を分析しました。改善策・対応策をまとめ、実践します。また、3小学校と結果を共有し、協力して取り組んでいます。

【重点的に取り組む項目】

- スマホ等のメディアの一定の制限を設ける。（メディア利用のルールづくり）
- SNS等の正しい使い方を生徒自ら考える。
- 地域行事への参加や外部人材を活用することで郷土愛を高める。
- 生徒が自ら考え、話し合い、高め合える授業を展開する。
- 全校的な行事や学年の行事等をとおして、生徒の活躍できる場を設ける。
- さらなる小中一貫教育の充実を目指し、小学校と中学校が連携を密にする。